

レガシー ファイアウォール VS クラウドネイティブ ファイアウォール

今すぐ移行を検討すべき5つの理由

ネットワーク管理者の67%が、従来のファイアウォールではリモートユーザーに高速でセキュアなアクセスを効果的に提供できないと考えています。¹ クラウドネイティブ ファイアウォールに移行することで、どんなメリットが生まれるのでしょうか？



レガシー ファイアウォール

VS



クラウドネイティブ
ファイアウォール

1

アクセスとセキュリティ

レガシー ファイアウォールは、制限のないアクセスで企業のリスクを増大させる

クラウドネイティブ ファイアウォールは、中断することなくセキュアに接続する*

*ゼロトラスト アプローチを使用



暗黙の信頼は制限のないアクセスや水平移動のリスクにつながる可能性があります



理解しやすい一元化されたポリシー管理により、設定ミスが減り、修正が容易になります



90%のITとセキュリティの管理者は、非常に寛容なポリシーを適用していることを認めています²



クラウド配信の保護が、ネットワーク内外のユーザーに確実にポリシーを適用し、シームレスに接続させます

2

ユーザー エクスペリエンスとスケーラビリティ

レガシー ファイアウォールは、エンドユーザーのエクスペリエンスを低下させ、ネイティブな TLS/SSL インспекションもない

クラウドネイティブ ファイアウォールは、無遅延かつ無制限の検査を備えている



すべてのトラフィックを検査するとパフォーマンスは最大50%低下します



インターネットへの直接接続を目的とした真のクラウド型ローカルインターネットブレイクアウトです



トラフィック量が多い場合、大容量または追加のライセンスがデータセンターに必要になります。仮想ファイアウォールにも物理ファイアウォールと同様に容量制限があります



Zscaler Single-Scan, Multi-Action™ (SSMA) エンジン、SSL/TLS を含むすべてのデータとトラフィックを分析して、パフォーマンスを損なうことなく高水準のインラインセキュリティを適用します

3

コスト³

レガシー ファイアウォールでは、高額な初期費用と継続的なコストが必要になる

クラウドネイティブ ファイアウォールは、コストを大幅に削減する



エンタープライズグレードのデバイスは1台あたり3万ドル~25万ドル以上かかります。通常、場所ごとに2台のデバイスが導入されます



ハードウェアやソフトウェアの管理は不要で、必要なのはライセンスのみです



年間5万ドル以上の管理維持費に加えて、ハードウェア、ソフトウェア、署名のサポートに費用がかかります



Zscaler はライセンスの台数を90%削減し、実務担当者の時間を74%解放します⁴

4

ゼロトラスト

レガシー ファイアウォールは、ゼロトラストに適していない

クラウドネイティブ ファイアウォールでは、ゼロトラストを利用できる



厳密なユーザー認証を動的に確立



厳格かつ継続的なユーザー認証とポリシーチェック



資産の完全性とセキュリティ態勢を確保



コンテキストを検証してデバイスとユーザーの態勢とリスクを決定



挙動や環境が変化した場合にリアルタイムでポリシーを変更



ユーザーとアプリ間にセキュアな直接接続を確立

5

管理

レガシー ファイアウォールは、リソースを大量に消費する

クラウドネイティブ ファイアウォールにより、重要な業務に多くの時間を割くことができる



ネットワーク管理者の75%がファイアウォールのハードウェア、アップグレード、展開の管理を困難と考えています⁵



FWaaSにより、パッチ、アップグレード、展開、過剰なIPSの調整が不要になります



パッチや更新、展開、調査、修復、監視により多くの時間がかかります



保守にかかる時間を最大74%短縮できるため、戦略的な目標に注力できます

クラウドネイティブ ファイアウォールにトラフィックをルーティングする準備はできていますか？ IDC のレポート「真のセキュリティトランスフォーメーションにクラウドファイアウォールが必要である理由」で、クラウドネイティブ ファイアウォールの強みをご確認ください。

[レポートを読む](#)